

Bridges

【姉妹校研修体験記】

今年から当校の海外研修に主に中学生を対象としたニュージーランド研修（7月20日から8月1日）が加わりました。姉妹校であるワイヒカレッジを拠点とし、ホームステイをしながら英語力の向上と異文化体験をしてきた生徒たちの感想を紹介します。

●今回の研修に参加して、英語や現地の人の生活(時間の使い方)などについて学ぶことができました。特に、学校での授業やホームステイでは英語を常に使用する環境にいたので、自分の実力が実感できました。今回の経験を通して、今後はこれまで以上に英語に力を入れていき、将来的には英語圏の人達に匹敵するくらいに英語力を上げたいと思います。

●ニュージーランド研修を通じて文化、言語、民族、歴史についてとても良い学習の機会になったと思いました。また、ホームステイの生活やワイヒカレッジではやはり英語を使う機会がふだんよりはるかに多く、英語の積極性が大切なのだという事を改めて感じました。これからもこのような機会があれば積極的に参加したいと思います。

●今回のニュージーランド研修を通じて、ネイティブの英語、ニュージーランドの文化、歴史などについて学ぶことができました。日本では英語を話す機会はあまりないのですが、英語圏では周りのみんなと英語を喋らなくてはいけなくなるので、英語力は伸びると思います。今回の研修で英語は積極性が大事だと思いました。これからは英語を積極的に話していきたいと思います。

【アメリカ研修】

今年で35回目を迎えた海外研修（7月23日から8月9日）は高校生を対象とし、「グローバルな貢献を目指して」をテーマにアメリカ東海岸を巡ってきました。ランカスターにて当校の起源をたどり、教会キャンプに参加します。教会キャンプでは現地の大学生が主体となって活気溢れる企画を行いました。ニューヨークではESDの一環として国連を訪問し、その後ボストンへ移動しました。ボストンではハーバード大学の学生から主にリーダーシップに関する講義を聴きました。それぞれのタイミングで参加生徒たちにまとめさせていた感想を質問と併せて紹介いたします。

「今後、外国にルーツを持つ人々が増えていく日本社会で彼らと共生していくために、どのような力を身につけてどのような取り組みをしようと考えますか。具体的に書いてください。」

●英語などの公用語が使えるようになることはもちろんのこと、会話をする時の正しい態度、文化を理解すること、という基本的なコミュニケーション能力にプラスして、多くの他の国への興味関心を深め、様々な国籍の人々と雑談ができるようになりたいと思っています。

●世界共通語である英語でのコミュニケーション能力を高める必要があると思う。そのためには、いろいろな人に話したり、質問したりして、いつでも、どこでも話せる状態にしたい。また、話せるだけではなく、話の話題や会話に参加できるようにするにはいろいろな知識が必要だと思う。勉強をしたり、何事にも興味を持てるような人になりたい。

「東北学院・宮城学院はどのような理念のもとで創立されたのだと感じましたか、あなたの考えを書いてください。」

●日本にキリスト教に基づいた教育を受けさせる機関を設けたい、また、宮城学院に関しては、女性の教育を受ける権利を尊重したいという理念のもとで創設されたのだと感じました。

●学園長さんの話を聞く限り、男女差別社会の中でも、男子校女子校と分けてでも男女平等にキリスト教教育を行っていきたいという強い執念のもとで創立されたのだと感じました。だから、キリスト教教育は男女平等社会が完成する前から既に男女平等教育を完成させていたのだと思いました。

「国連本部見学について、最も印象に残っている箇所を選び、なぜ印象に残っているかを書いてください。」

●人権に関する文章が壁にたくさん載っていたところ。国連で扱うような文章はだいたい堅苦しいというイメージを持っているので、絵本のように絵が添えられていて、柔らかい印象を持たせるクレヨンで描いたような文字を使っていたため、印象に残っています。誰にでも開かれている文章であることを表しているのかも知れないと思いました。

●たくさんの国から寄贈品をもらっているところが国際協力していていいと思った。例えば、正解のない絵などそれぞれに工夫があってとてもいいとおもった。

●国連に各国から寄贈された芸術品の中で、アメリカから寄贈されたノーマン・ロックウェルのモザイク画が印象に残っています。理由は、タイルで作られたにも関わらず、リアルに感じたことです。

「目標設定すべきことは何と学びましたか」

●目標は詳しく、積極性があるか、現実的であるか、進歩があるか、測定できるか、達成する方法はあるかの六つのことが大切だと学んだ。これを全部目標として考えることで目標を達成できるまで持ち続けることができるそう。

●抽象的ではなく具体的に、自分が達成可能な範囲内の目標を設定すること。おそらくこれは「〇〇大学に入りたい」などといった夢を達成するための礎を、正確に築くために必要なことである。

「MIT見学で印象に残った場所とその理由を教えてください。」

●文理系関係なく、ポスターとその説明が書かれた展示物の廊下見学が印象に残った。詳しく言えば、その後の「文理関係なく、選考がなされ、勉強をする」というアランさんの話が印象に残り、そこに日本の学習スタイルとの違いが大きく見えたのが興味深かったため、印象に残った。

●MIT見学で印象に残った場所は銃弾や水が落ちる瞬間を撮った写真がある部屋です。その理由は、人間には写真を撮ることができないものを現代の技術であるストロボ写真を使って撮っていたのだと思います。

「Human Knotから、リーダーの存在に関してどのように感じましたか。」

●授業の内容を受けた上での自分の見解としては、積極的に自分の意見を持ちつつ他の意見を尊重する、そして議論になったときコンパクトなコミュニケーションがとれ、効率よく話が進行するように自ら司会を買って出るような存在がリーダーだと思った。

●状況が混沌としている中で、ゲームのクリアに向けて集団を導くのはなかなか難しいことだと思った。でも誰か1人でも導く人がいて、周囲がそれに従うという状況はグループが前進する上で重要だと思った。

「ハーバードキャンパスツアーで最も印象に残った箇所とその理由を書いてください。」

●図書館

アメリカの中で三番目に大きな図書館で五百万冊以上の本がおいてある。六階建てで地下四階まであるそう。私はあまり本を読まないの図書館に入りたいと思わないが、この図書館は入ってみたいという気持ちでいっぱいでした。

●ジョン・ハーバード像。

3つの嘘があり、ジョン・ハーバードは大学を設立したのではなく、創設は1638年ではなく、1636年で、モデルが1884年の学生であり、足先を触ると幸運が訪れるといわれていて面白いから。

「JFKミュージアムで最も印象に残った箇所とその理由を書いてください。」

●宇宙船の展示

アナログな計器ばかりなのに、実際に宇宙に行って帰ってきたという事に驚いた。

その当時アメリカは宇宙開発に力を入れたいたんだなと思いました。

●映画のように映像を見たところです。ケネディ大統領にまつわる話は、大統領自身のわかり易い言葉で語られていたため、その面白さが十分に理解できたと感じました。この映像によって私はケネディ大統領に大変興味を持ったので、強く印象に残っています。また行きたいです。

「ハーバード自然史博物館で印象に残っている箇所とその理由を教えてください。」

●鉱石展示ルーム

金などの金属の塊はまだ何ら不思議ではなかったが、ただの粗い石のようなものの中にきれいな結晶があるものや、エメラルドのように透明な緑の規則的立体など、本当に人工物でないのが疑わしいほどきれいなものが多かったから。どのような現象によってそれらがつくられたのが不思議だ。

●特に印象が残っているものはアメリカの現住人が使っていた多くの道具や武器、防具や住まいなどの多くの文化遺産である。私たちは剣での戦いを想像したことがなかったので、鋭利な剣をみて、昔がどれだけ残酷で悲惨な惨状であったことを知ることができた。それと同様に、その当時の暮らしの姿を体感する事ができた。

「ボストン美術館で印象に残っている箇所とその理由を教えてください。」

●私は西洋美術と現代美術を見てきたのですが、特に印象に残っているのは現代美術です。現代美術には作者の伝えたいことがはっきりとした形で表されているような美術品が全く無く、見ていてとてもふしぎな感覚になったことをとても覚えています。そんな不思議な作品も、なぜか見ているだけでとてもリラックスできるような感覚にもなり、とても楽しかったです。

●アメリカに限らず、世界各国の美術作品を展示していたところ。

何メートルもの石像も多数展示されてあったので、どうやって海を超えて健全な状態で運んだのか不思議だったから。また、アメリカにそれだけ多くの国が展示品を寄付したということは、やはりアメリカの権力は世界の中でもずば抜けているんだなと思った。

「全てのプログラムを終えて、これからその経験をどのように活かしていきたいと思いませんか。」

●このアメリカ研修では、アメリカ人の話す速度についていけなかったこともあるが、一番は語彙力のなさが要因となり、特にボストンプログラムでは話の内容が全然理解できないことが多々あった。しかし、意味が分からない単語の中にはユメタンで学習したけれども意味が思い出せないというものも多かったの、自分の目指す大学も大学だし日本帰国後宿題を終わらせたらすぐにユメタンを中心に単語の

勉強に取り掛かるべきだなと思った。

●海外の人に自分の意見を話す機会は少ないので、とてもいい経験をさせてもらった。

自分とは違う価値観を持っている人に自分の意見を伝えることはとても難しいと感じた。これからはこの経験をもとにどのような人にも、通じるような自分の意見を作れるようにしていきたいと思う。

●全てのプログラムを終えて日本で活かしたいことは、このプログラムで学んだ大切なことである自分から積極的に話していくことと、自分の意見を自信を持って相手に伝えることだと思います。このプログラムで学んだことを日本に帰っても忘れないようにしたいです。

【交換留学生の紹介】

8月21日から来年の6月8日までの予定で、交換留学生が本校で一緒に学んでいます。クラスは4C、4Fに所属しています。よろしくおねがいします。

◎ 4C Hugo Rots (通称 ヒューゴ) 君 スウェーデン・オランダから

◎ 4G Sergio Zerlottin (通称 セルジオ) 君 イタリアから

【2019年度海外研修のご案内】

2019年度のニュージーランド姉妹校研修は2019年7月26日(金)から8月8日(木)までの14日間の予定で行われます。アメリカ研修は2019年7月21日(日)から8月5日(月)までの16日間の予定で行われます。詳細につきましては、別紙の案内文書をご参照ください。